



International Exchange Bulletin

とちぎ国際交流

第 12 号

1991年(平成3年)3月号

編集発行

(財)栃木県国際交流協会

Tochigi International Association

〒320 宇都宮市昭和1-2-16

栃木県自治会館1階・3階

T E L (0286) 21-0777(代)

F A X (0286) 21-0951



岩船山高勝寺大縁日（とちぎのまつり百選より）

岩船山は、死者の霊が集まるといふ信仰が昔からあり、かつては関東の高野山と呼ばれ一大霊場として栄えたものです。

年2回のお彼岸には、奇岩怪石で知られる岩船山高勝寺の表参道に茶店、露店などが並び、県内外から多くの参拝者が祈願や供養に訪れます。

600段の岩山を登ると関東平野を一望でき、境内の三重塔、仁王門の文化財（県指定）を楽しむこともできます。

Grand fair of Iwafunesan-Koshoji temple
Mt. Iwafune was believed to be the gathering place for departed spirits and was regarded as a sacred place. During the equinoctial week, many stalls stand along the front approach of the temple and many people come to the temple

to pray.

There are 600 steps to the top of the mountain which commands a complete view of the Kanto plain from the top. Cultural works such as a three-storied pagoda and a Deva gate can be seen.

Date: March 18-24/September 20-26

Transportation: 8min. walk from JR Iwafune Station (JR Ryomo line)

今号の主な内容

- ★ お正月国際交流の集い'91カメラ・ルポ P 2
- ★ ブラジル国短期研修生来県…………… P 4
- ★ T I A 文化交流サービスバンク開設 P 8

THE NEW YEAR PARTY!

一人ひとりが外交官！ み お正月国際交流

去る1月12日(土)、「お正月国際交流の集い」(TIA主催)を開催しました。この集いは、お正月の伝統行事を通して在県外国人に日本文化に触れ合ってもらうとともに、県民との交流も深めてもらうというのが目的で、昨年に続き2回目です。

欧米、アジア、アフリカ出身の在県外国人約130名が集まり、和服の着付け、茶の湯、生け花、そしてカラオケなどを体験したり、また外国人が独自で企画した自国紹介コーナーでは様々な演出をしてくれました。



▲お正月といえばコレ！もちつきは体力勝負



◀音が出た！(当り前)。日本伝統音楽にちよっとだけ触れてみました

▶はつきり言って、外国人のみなさまカラオケがお上手。一体どこで練習しているのやら



◀外国人が企画した「自国紹介コーナー」では誰もがフリートーク

デントウブシカガ ダイスキデス



◀会場の男性の目を釘付けにした必殺エアロビクス

▶「私の焼いたクレープは最高ヨ」と張り切って作ったクレープの味はいかに!?



んなが主役です の集い'91

カメラ・ルポ



◀ 着付けコーナーは外国人に大人気。着た人全員に、インスタントカメラで写真をサービス



▲ “出会いの広場”の折紙コーナーでは外国人に作り方をやさしくアドバイス



◀ めずらしい韓国餅を紹介した自国紹介(韓国)コーナーは、民族衣装のせいか、雰囲気バッチリ

ワタシタチハ、ニホンノ



◀ “どうやって飲むの?”とお茶に挑戦するが、その難しさに思わず頭も下がります

▶ “漢字なら、日本人に負けません”と力作を披露してくれた留学生



▲ 女性は女性らしく生け花を学びたい…でもコレ意外に大変なのネ

▶ 会場に来た高校生は「生きた英語」に生まれて初めて接したことに大感動。勉強が役に立った!?



ようこそとちぎへ ~ブラジル国短期研修生初めての日本！

栃木県ブラジル移住者子弟短期研修生受入事業が、去る1月16日～2月4日の日程で行われました。

この事業は、栃木県出身のブラジル移住者の二世、三世を招待し短期間研修させ、日本並びに母県である栃木県に対する理解と絆を深めることを目的としています。

団長の大貫栄達伯栃木県人会長とともに10名の高校生が来県し、様々な研修メニューを元気いっぱいにこなしました。日本で学んだことをいつまでも忘れないで下さいネ！



▲前列右から木村アルベルト健太郎、長沢ラファエール、立川クリスティーナ美雪、大貫栄達伯栃木県人会長、大類フェルナンダシユムキ、鈴木アレシャンドレー彦、後列右2番目から、仙波悦子、西山篤子、福田リアアン、小口誠ニファビオ、三木ウンベルトの各研修生のみなさん
(日産自動車栃木工場にて)



▲少し緊張感が漂っていた、知事表敬での自己紹介



◀夏のブラジルから冬の日本へタイムスリップ。生まれて初めてのスキーにみんなワクワク

▼転んで立てない研修生を助けに行った岩瀬さん(スキー指導)も思わずドシッ！



▼県外視察では、東京・江の島鎌倉を見学。大仏の大きさは感動モノ



▶歓迎レセプションでは、ホームステイする受入親族とご対面



◀不思議体験がいっぱいの子ども総合科学館でみんなエンジョイ



▲宇都宮北高校生との懇談会では、ブラジル人らしい発言もあり、みんなビックリ

こちら国際交流最前線

馬頭町国際交流会

馬頭町国際交流会は、1977年5月「国際交流のある町、国際交流のできる町」を目標に、国・県等の海外派遣事業参加者や青年団OBなど12人で発足しました。

早いもので今年は15年目を迎えます。この間、アジア学院、TIAなど多くの方のご支援を受け、また、町の婦人会、青年団等のご協力を得ながら多くの事業を実施することができました。

事業の内容は、アジアの夕べと題した文化交流事業、「豊かさへの国際交流」をテーマとしたシンポジウム、国際交流キャンプ、料理教室、ミニコンサートなど継続的に実施してきました。

私たちの会にとって交流の原点は、人と人との

出会い、そして、そこから生まれる交流にあります。ホームステイを通しての「家族と家族の交流」は、一つの国の理解により親近感の持てるものと思います。今後は、これらの経験を生かし「人を通して世界に見える人・まちづくり」に努めていきたいと思っています。



◀相互理解は出会い・会話から生まれます
— 国際交流キャンプで —

ヒッポファミリークラブ

(宇都宮ファミリー)

「パパ、今日はヒッポの日でしょ。一緒に行ける？ ヤッター！」毎週木曜日の朝は、こんな会話で始まります。

4歳と7歳になる娘は覚えたての英語や中国語をはずかし気もなく口に、スペイン語の歌を歌います。私達家族は7ヵ国語の自然習得を目指し

▶笑いが絶えない家族ぐるみの活動風景



て日々、様々な言葉に楽しく接しているのです。

この活動を提唱しているのはヒッポファミリークラブ。約20家族が参加し、週に1回集まって、楽しく活動しています。

私達の活動のユニークなところは、一切文字に頼らず、耳から入ってきた音を素直に口にしながら言葉を少しづつ蓄えていこうという点です。なぜならば、どこの国の赤ちゃんも文字を理解する前に3才ぐらいで話せるようになるからです。このやり方を通じ、言葉とはテキストと向き合うのではなく、生きた言葉が交される中でこそ育まれていくことがわかりました。ですから、家族ぐるみで、またより多くの仲間と言葉のキャッチボールをすることを実践しています。家族でやるから楽しいし、楽しいから続きます。皆さんも是非ヒッポに遊びに来てみて下さい。(渡辺裕子)



宇都宮市鶴田町1545-1
(平成鹿沼インター通り)

セレモニーホール

センチュリー

へいあん

TEL.0286-48-1122  0120-481165

読者の広場

◆国際交流の究極の目的は「世界平和」

目下の中東の出来事は、誠に遺憾なことです。皆さんもそう感じているのではないのでしょうか。といいますのも私たちが携わっている国際交流の究極の目的が他にもなく世界平和だからです。私は、そう思います。その世界平和が今脅かされているのです。私たちは、さらに努力をしていかねばなりません。この活動が単なるブームであってはなりません。

過去の活動は、「日本的」なものを紹介したり、体験させたりと「日本的」にこだわる傾向にあったのではないのでしょうか。勿論、それも必要でしょうが、今後は、こうしたかかわりを捨てて、気負わず、あせらず、しかしながら、自分の主義主張はしっかり持って活動していきたいものです。幸い、現在はスムーズなコミュニケーションに不可欠な hearing や speaking を身につけるために十分な機会を得ることができます。ですから益々各人の人柄、センス、主義主張が重きをなしてくるのです。勿論、情熱も。

(壬生町・金子悦子)

◆国際交流について思う

昨年、機会を得て、ヨーロッパの国々、アジアの国々を訪れることが出来た。どこの国でも、繁華街に出ると多くの日本人に出会った。そして、地球は狭く感じるとともに、日本人の海外熱の凄さに驚いたものである。しかし、訪れた国の人々に聞くと、「金にまかせてわが物顔に歩く」と余りよい言葉は返って来なかった。

国際化、国際交流といわれて久しいが、どうも外国旅行を重ねると即国際人になったと感違いしているような感じがしてならない。パック旅行で有名ブランドを土産に買って来るのも確かにその人の見聞を広め、生活を豊かにすることには間違いないが、それでは、訪れた国々の生活に触れることは出来ないと思われる。折角外国に出かけてゆくのなら、訪れた国々の生活や暮らし方などについて少しでも触れて来たら、その人のこれからの生活が心豊かになるのではなかろうかと思う。そのような旅行ができるようにしてゆく啓蒙活動を行うことも必要ではないだろうか。

(宇都宮市・大森清壽)

トピックス 国際交流教養講座「国際化のために一個性値ある人材を」

去る2月26日(火)、栃木県自治会館大会議室に於いて、財団法人栃木県国際交流協会と国際交流基金の共催により、国際交流教養講座が開催されました。亜細亜大学学長の衛藤瀋吉先生を講師に招き、「国際化のために一個性値ある人材を」と題した講演が行われました。当日は、150名余り参加者が集まり、“国際社会の中で活躍するためには、定量化できず画一的に評価できない『個性値』ある人材が必要”との先生

の話に、参加者は皆、熱心に聞き入っていました。講演後、国際交流に関する活発な意見交換もなされ、盛況を呈しつつ幕を閉じました。



「巧みな話術で『個性値』の重要性を説いた衛藤先生」

宇都宮 ↔ 成田空港

毎日4往復 2時間50分・4,000円

直通高速バス マロニエ号

▶ 宇都宮駅西口関東チサンホテル前発 ▶ 成田空港1階入国ロビー京成カウンター前発

● 成田空港ゆきは予約制です ● マロニエ予約センター ☎0286-38-1730

関東自動車(株)

国際交流 Q&A

—外国人のアルバイトについて—

Q. 外国人でも日本国内でアルバイトをする事は可能でしょうか。

A. 日本国内での就労活動に制限のない在留資格は、①永住者、②日本人の配偶者等、③永住者の配偶者等、④平和条約関連国籍離脱者の子、⑤定住者の5つです。これらの在留資格を持つ外国人はアルバイトができます。また、「留学生」や「就学生」などのビザを持つ外国人も、事前に法務大臣に現在持つ在留資格以外の活動（アルバイト）をする旨の申請をし、許可を受ければ、原則として1日4時間を越えないで学業に支障を及ぼさない範囲でアルバイトをすることが可能です。また、カナダ・オーストラリア・ニュージーランドの3か国は日本と「ワーキングホリデー制度」を結んでいますので、ワーキングホリデーで入国している外国人の若者もアルバイトができます。その他の外国人はアルバイトはできません。

三浦朱門講演会「いつかどこかで人は輝く」



◀豊かな体験談で聴衆を魅了した三浦朱門氏

栃木県青年海外協力隊OB会はT I Aとの共催で、三浦朱門講演会「いつかどこかで人は輝く」を去る2月10日(日)、宇都宮市総合コミュニティセンターで開催しました。三浦朱門氏は作家で、文化庁長官として活躍された経歴があります。当日、会場には150名の県民が訪れ、三浦氏が世界各地で体験した様々な話に耳を傾けました。講演後の質問コーナーでは、活発な発言が飛び出し、会場は盛り上がりました。

旅券窓口がJR宇都宮駅に移転

県庁（東館）の旅券窓口は、2月4日からJR宇都宮駅1階正面口に移転しました。受付時間は、月～金曜日は9:00～16:30、土曜日は9:00～11:45で、祝祭日、第2・4土曜日は休みです（☎0286-38-3811/テレホンサービス☎0286-32-8686）。駐車場はありませんので、電車・バスをご利用下さい。



◀JR宇都宮駅に移転した旅券窓口

協会日誌 (1991.1.1~1991.3.31)

- 1.12 お正月国際交流の集い (ニューみくら)
- 1.16~2.4 ブラジル国短期研修生10名受入
(関係者との交流会、県内視察等)
- 1.19 国際交流シンポジウム(小山市商工会議所)
小山国際交流会と共催
- 2.5 栃木県地域留学生交流推進協議会運営委員会 (自治会館)
- 2.10 青年海外協力隊派遣隊員家族懇談会/青年海外協力隊活動普及講演会「いつかどこかで人は輝く」講師=三浦朱門氏 栃木県青年海外協力隊OB会と共催
(宇都宮市総合コミュニティセンター)
- 2.22 外国人留学生支援金の交付及び懇談会 (ニューイタヤ)
- 2.26 国際交流教養講座「国際化のために—個性値ある人材を一」講師=亜細亜大学学長・衛藤藩吉氏 (自治会館)
- 3.14 栃木県国際交流懇談会 (栃木県公館)
- 3.15 海外技術研修員、県費留学生修了式 (栃木県公館)
- 3.18 第5回協会評議員会 (自治会館)
- 3.25 第6回協会理事会 (自治会館)

